

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 164

発生場所	エレベーター	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	エレベーター	発生内容の分類	C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
		落下物	

発生内容

ものの落下

概要

月曜日、朝 7 時 30 分頃、清掃職員（委託業者）が 1 階の清掃を終え、上階に行くためにエレベーターに乗り込んだ。その時に持ち込んだ掃除機のコードが収納されておらず、コードはエレベータードアの隙間に入り込んでしまった。清掃職員はコードが挟まったのに気づき慌てて抜こうとしたが、抜けずにコードが挟まったままエレベーターが動き出してしまった。その後エレベーターは 3 階に到着。清掃職員は到着後にエレベーターを停止させ、担当部署に連絡を行った。幸いにもエレベーターに患者さんは乗っていなかったが、患者搬送用のエレベーターであったため、挟まったコードの撤去や安全点検の作業により、朝の手術や検査の開始時間等に遅れが生じ、複数の患者さんに影響が出てしまった。

要因

- ・掃除機のコード収納部分が破損したまま使用されていた（清掃備品の点検管理体制が曖昧）
- ・外部職員（委託業者）に対する職員教育の内容について確認されておらず、必要な安全教育の体制がなかった。
- ・外部職員（委託業者）に対し、院内で発生した事例について共有できる体制が不足していた。

対策

- ・各階、および委託業者の清掃備品の管理体制を明確にした
- ・外部職員（委託業者）に対する職員教育の内容について確認し、必要事項については院内職員教育へ参加できる体制とした。
- ・外部職員（委託業者）に対し関連するインシデント事例の情報提供を行う体制をとった。

参照